立憲民主
RIKKEN MINSHU

名古屋市議会ニュース

Vol.21

2023年11月号



頑張るあなたを独りにしない

名古屋市会議員

久田くにひろ

プロフィール

昭和58年12月31日生まれ。瑞穂区生まれ。
陽明小・汐路中・天白高を経て青山学院大学経済学部卒業、名古屋大学大学院経済学研究科修了。
不二家・京セラ(KDJ)で法人営業に従事。

街頭活動
1,290回
10月末日時点

さくらの名所応援寄附金がふるさと納税の対象へ

今年度からふるさと納税の対象となりました。名古屋市外在住の方は返礼品の受取りができます。名古屋市内にお住まいの方については、従来通り寄附を受け付けています。なお、5,000円以上の寄附1口につき、国産さくら材を使用したオリジナルメモパッドを記念品1つ送付されます(ふるさと納税返礼品ではないため、名古屋市内の方も受取り可能)。

※納付書を希望される場合は久田くにひろ事務所までお問合せください。



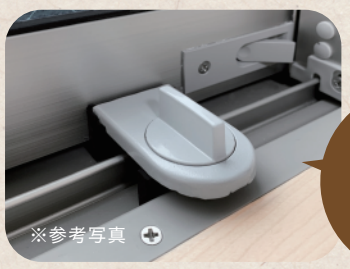


国産さくら材
オリジナル
メモパッド

詳しい情報はこちら

子どもを守るための 補助錠の無償配布

子どもがマンションから転落する事故の発生を受けて、子どもが勝手に窓を開けたり、ベランダに出たりしないよう、窓に取り付ける「補助錠」を無料で配布することになりました。対象は6歳未満の子どもがいる市内のおよそ8万世帯で、1世帯につき1つを配布する予定です。



1世帯に
1つずつ
配布予定

中小企業支援金が始まります

エネルギー価格や原材料費の高騰、労務費の上昇を受けているものの適切に価格転嫁できていない中小企業者に対し、取引先との価格交渉の価格転嫁に向けた取り組みを促進するため、利益率が低下するなどを要件に、支援金を支給します。

売上高の基準		
	5千万円以下	20,000円
	5千万円超~1億円以下	40,000円
	1億円超~5億円以下	60,000円
	5億円超~10億円以下	80,000円
	10億円超	100,000円

詳しい内容は
QRコードから

申請期間:11月16日(木)~12月28日(木)

化学物質過敏症への理解を



化学物質過敏症に対する理解と配慮を進めるために、河村市長への要望書提出をお手伝いしました。要望内容は市民への普及啓発や学校での配慮、相談窓口設置です。国では、啓発ポスターの見直しなど対策が進められています。名古屋市においても対策が進むよう、引き続き働きかけをしていきます。

※化学物質過敏症とは・・・日用品(例:柔軟剤)に含まれる香料などごくわずかな化学物質により頭痛やめまい、吐き気など心身に様々な症状が現れる状態です。この病気の原因などは分かっていないことが多く、誰にでも発症するリスクがあります。

名古屋民主市議団
市政報告紙

立憲民主党・名古屋市会議員
久田くにひろ

TEL:052-846-3460
FAX:052-846-3461
hisada.kunihiro92@gmail.com

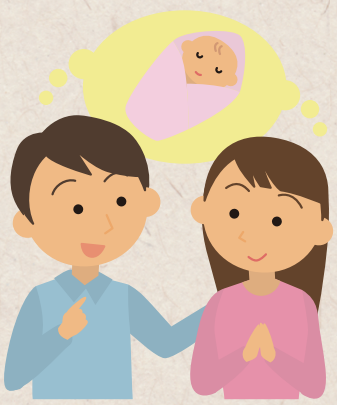
LINE Facebook 旧Twitter instagram youtube 公式サイト

〒467-0007 名古屋市瑞穂区大殿町3-5 ドミール汐路101号室 ※地下鉄桜通線 瑞穂区役所駅徒歩10分、汐路中学校近くです。

教育子ども委員会での決算審査　「久田くにひろの主な質疑」

01 不妊治療費助成について

保険適用となったが、調査によると「経済的な負担が増えた」と答えた人が３割もいる。保険適用外の治療を一緒に受けると混合診療となり、適用分も全額自己負担となるのが主な原因。当事者世代の経済的負担を減らすために、名古屋市独自の不妊治療費助成制度を設けるべきだと求めた。





02 流産後の不安に対するケアについて

不妊症や不育症に対する相談窓口はあるが、初期の流産に対する相談窓口を名古屋市は設置していない。流産後の手術や症状のことなどを安心して相談できるところが欲しいとの切実な当事者の声を伺っている。早急に相談窓口を設置するよう求めた。

03 トワイライトの課題について

(1) 質の向上を図るべき!

アンケート結果から満足度の低いトワイライトがあることが判明。その後に改善指導を図ったとのことだが、アフターフォローができていないことは問題である。現状を重く受け止め、早急に改善すべきと指摘した。

満足度の低いトワイライト　（単位:%）

区 分	満 足	不 満
A小学校	28.7	71.3
B小学校	55.3	44.7
C小学校	56.5	43.5

注1：満足は、保護者が「満足」「どちらかというと満足」及び子どもが「とてもたのしい」「すこしたのしい」と回答した数を回答の数で除した割合
注2：不満は、保護者が「不満」「どちらかというと不満」及び子どもが「たのしくない」「あまりたのしくない」と回答した数を回答の数で除した割合

(2) スタッフの処遇を改善すべき!

現在の処遇は負担に見合っていないとの声を伺っている。賃金を含めた処遇の改善を図るよう求めたところ、当局から従事内容が複雑化しており、現在の処遇は見合っていないことは把握している。人材を確保し、安定的な運営体制を整えていくため、適正な処遇の確保は重要との答弁があった。

04 小学校部活動の改善について

高学年になるにつれて楽しいと回答する割合が減少している結果を受けても、改善策を行っていないことは問題。指導方法の大きな改善や指導者のやる気を引き出すようなインセンティブを考えるなど今回のアンケートをしっかり受け止め、早急に対策を講じるよう指摘した。

小学校部活動の楽しさアンケート　（単位:%）

区分	5（楽しい）	4	3（普通）	2	1（楽しくない）
4年生	72.8	16.6	8.7	1.7	0.2
5年生	58.3	20.7	13.9	5.9	1.1
6年生	47.8	23.0	19.2	7.5	2.4

※小数点第1位未満を四捨五入しているため、合計は100%にならない

05 児童相談所

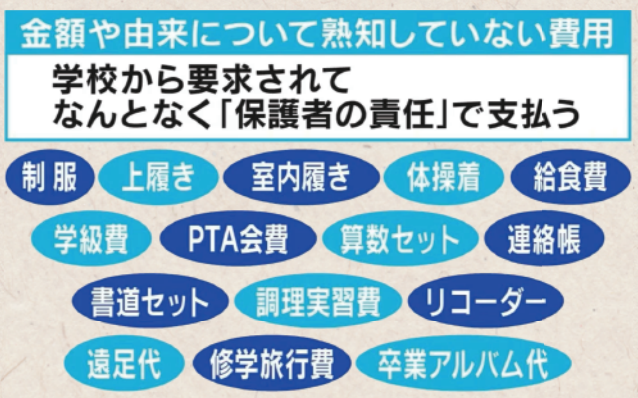
児童虐待対応件数が３年連続で減少しているが、その原因を把握できてないことは問題である。関係機関との連携強化や体制強化、専門性の向上など重要であるが、そもそも現状を分析できなければ対策もできない。しっかり分析した上で対策を講じるべきだと指摘した。

06 学校の運営費

教育委員会は、学校現場での運営費が不足することで、子どもたちの教育内容に影響を及ぼすことがあってはならないと考えており、必要な学校運営の予算の確保に努めていくとの答弁であったが、物価高騰の状況も踏まえて、運営費の増額を求めた。

07 学用品の経済負担軽減策

彫刻刀などあまり使わないものは学校で購入し共有して使うなど保護者負担の軽減を行うべきと求めたところ、教育委員会から希望購入の教材については、共有で十分なものは学校で購入するなど、学校に対して促していくとの答弁があった。さらに、ドリル類をデジタル教材にするなど、一層の保護者負担軽減に向けて取り組みを進めることになった。



［引用元］授業料と別で総額30万円？「隠れ教育費」の驚くべき実態　かさむ保護者負担に無償化はどこまで必要？（参照 2023/04/08）
https://times.abema.tv/articles/photo/10074642?pn=1